

カタカタ動く 木のおもちゃ

愛教大・樋口教授が設計

木製の物体が斜面やタワーを落ちる動きや音を楽しむ「木のおもちゃ展」が大府市桃山町の市歴史民俗資料館で開かれている。二月十四日まで。

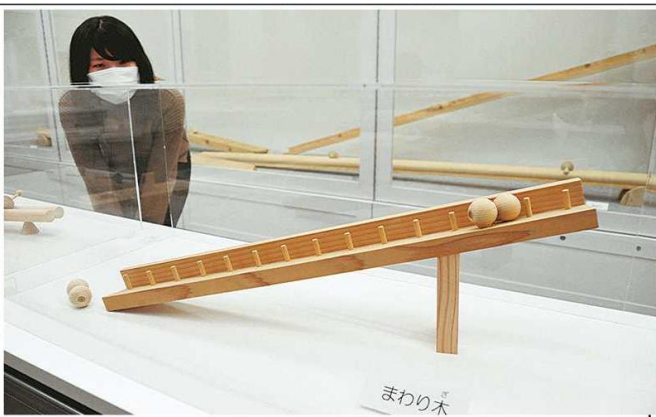
大府市歴史民俗資料館で展示

カタと響く心地よい音を楽しむ。樋口教授は、重力によって動く造形を「グラビモルフ」と名付け、三十年以上制作している。「動きを想像してから映像を見て、ユニークでオリジナルな動きに驚いてもらえたら。自分たちでもいろいろなものを転がして、ものづくりにつなげてほしい」と話した。

来場していた同市中央町の石川文香さんは「触れないのは残念だったが、映像が楽しい」と言い、長男の侘苺ちゃん(3歳)も「(おもちゃの転がる)スピードが楽しい」と喜んでいました。

展示は午前九時から午後六時まで。二十九日と月曜休館(二月八日は開館)。無料。

(栗山真寛)



動きのイメージが膨らむ木のおもちゃの展示。大府市桃山町の市歴史民俗資料館で